

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	S.O.	学部・学科	国際教養・国際教養学科
学年	4	派遣国	ベルギー
派遣大学	ルーヴァン・カトリック大学サンルイ・ブリュッセル校		
期間	2023年 9月 3日～ 2024年 6月 29日		

【生活編】

1. 滞在先 1

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()				
部屋	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()				
設備	*共同 = ○ 部屋にあるもの = ○				
	トイレ	<input type="radio"/>	シャワー	<input type="radio"/>	洗面所
	キッチン	<input checked="" type="radio"/>	冷暖房	<input type="radio"/> (暖房)	冷蔵庫
滞在費	約 (100000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃				
移動	(地下鉄、徒歩) で、約 (10) 分 *大学までの所要時間と移動方法				

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

1. 滞在先 2

滞在形態	<input checked="" type="checkbox"/> 学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()				
部屋	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()				
設備	*共同 = ○ 部屋にあるもの = ○				
	トイレ	<input type="radio"/>	シャワー	<input type="radio"/>	洗面所
	キッチン	<input checked="" type="radio"/>	冷暖房	<input type="radio"/> (暖房)	冷蔵庫
滞在費	約 (120000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃				
移動	(徒歩) で、約 (3) 分 *大学までの所要時間と移動方法				

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	40000 円	サラダボウル、フルーツ、パスタなど

学用品購入費	1000 円	ノート、ペン
交通費	0 円	学生価格の交通カード一年分が 12 ユーロ
交際費	30000-50000 円	主に旅費
その他	2000 円	携帯のデータ

合計

円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

ブリュッセル北駅、南駅はいつも治安が悪い。大学近くだと Botanique 駅でスリやひったくりに遭った友達が多い。毎日パトカーのサイレンが鳴っている。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帶海学／その他()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(10390) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町（**ブリュッセル**）

ベルギーの公用語のうち、フランス語が話されている。簡単な英語であれば通じるが、往々にして通じない場合もある。EU の主要機関（EU council, Council of the EU, European parliament など）が一同に介しており、市内中心部からのアクセスが可能。市内は国際色豊かで、移民がとても多い。アジア人も多く、アジアンスーパーもある。南部や郊外に日本人が多く住んでいる。役所の仕事は遅いが、ヨーロッパの平均だと思う。早め早めに手続きしたほうが良い。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ルーヴァン・カトリック大学サンルイ・ブリュッセル校	所在地	Bd du Jardin Botanique 43, 1000 Bruxelles
最寄空港	ブリュッセル国際空港 (BRU)	空港からの距離	10km
空港 ⇄ 大学	(電車 (IC))		*移動手段
学生数	約 4500 人	留学生数	約 990 人 (正規生含む)
学部	<p>Faculty of Philosophy, Languages and Letters, and Human Sciences Faculty of Law Faculty of Economics, Social and Political Sciences and Communication Faculty of Translation and Interpreting (Marie Haps Campus)</p> <p>*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。</p>		
学部/専攻	<p>Faculty of Economics, Social and Political Sciences and Communication /Political Science</p> <p>*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。</p>		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Political Science			Ethics and the economy	Communication Science
午後		English for Erasmus			French for exchange students

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前			Seminar in international and European organizations	Introduction to Belgian politics (for exchange students)	
午後	Geopolitics, English for Erasmus (Advanced)	French for exchange students			

3. 履修内容

科目	Political Science		
履修期間	前期	単位数	5ECTS
授業内容／形態	主に講義型の授業です。政治学の入門コースとシラバスには書かれていますが、基本的な政治学の概念にジェンダーの視点を加えた説明がされます。		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	English for Erasmus (Intermediate)		
履修期間	前期	単位数	5ECTS
授業内容／形態	交換留学生ための英語の授業です。初回授業でプレゼンテーションとインタビュー、PubQuiz の三つが出されるという説明がありましたが、実際はプレゼンテーションのみを行いました。たまに授業で扱った内容についての単語テストがあります。最終課題は writing テストです。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Ethics and the economy		
履修期間	前期	単位数	5ECTS
授業内容／形態	講義型の授業です。授業の最終目標は現代の経済倫理の中でも中核にある問題の概要を網羅することです。倫理がどう経済の問題と関連するのかを明確にするために、ロールズやロバート・ノジック、ピーター・シンガーらの主要な著者の理論を参照しながら、公共政策や経済行動などの具体的なケースに当てはめて考えていきます。扱う問題の多くがベルギーの社会問題であることが多いので、ベルギーの世相も知ることができます。		
成績	Abs.		
YCU 振替予定	科目		

	単位数	
	担当教員	

科目	Communication Science		
履修期間	前期	単位数	5ECTS
授業内容／形態	主に講義型の授業です。少人数のグループで、試験対策のために質問や勉強の機会が与えられるセミナーという活動があります。コミュニケーション科学における重要な古典的理論や概念を理解し、それを用いて現代のデジタル社会におけるコミュニケーションを理解することが目標です。コミュニケーション科学それ自体の知識だけでなく、その周辺分野（パラダイム、理論の分類の仕方、科学的な議論や概念、批評の在り方など）の知識も一緒に学びます。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	French for exchange students		
履修期間	前期	単位数	5ECTS
授業内容／形態	交換留学生のためのフランス語の授業です。私は niveau élémentaire (初級) レベルのクラスに入りました。10人弱の少人数のクラスです。最初は英語が多かったですが、先生の指示や文法や単語についての説明を含め、徐々に授業全体がフランス語で進められるようになります。		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Seminar in international and European organizations		
履修期間	後期	単位数	5ECTS
授業内容／形態	基本は講義型で、評価方法は学期末のテストではなく出席とプレゼン、シミュレーション演習で構成されています。EU や NATO の主要な機関を実際に訪れることで学びを深めます。		

成績	C		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Geopolitics		
履修期間	後期	単位数	5ECTS
授業内容／形態	世界大戦前後～冷戦～今日に至るまでの地政学を学びます。講義型の授業です。評価方法は学期末テストです。		
成績	Abs.		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Introduction to Belgian politics (for exchange students)		
履修期間	後期	単位数	5ECTS
授業内容／形態	留学生向けの授業で、ベルギーの政治システム・機関の特徴、その発展について扱います。講義型の授業で、最終試験として学生によるベルギーと比較しての自国の特異性に関するプレゼン、グループレポートが課されます。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	English for Erasmus (Advanced)		
履修期間	後期	単位数	5ECTS
授業内容／形態	前期は Intermediate クラスだったので今期は自動的に Advanced クラスに割り振られました。授業形態も前期と同じで、授業内でプレゼンやアクティビティを挟みながら最後に writing テストがあります。ほぼ毎回授業で扱った内容についての単語テストがあります。		

成績	B
YCU 振替予定	科目
	単位数
	担当教員

科目	French for exchange students		
履修期間	後期	単位数	5ECTS
授業内容／形態	交換留学生のためのフランス語の授業です。後期は niveau intermédiaire (中級) レベルのクラスに入りました。少人数のクラスです。ほぼ授業全体がフランス語で進められます。		
成績	C		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

まず生活についてです。一つ目の学びは、ここでは自分から行動しないと何も始まらないことです。同様であれば、来年もブリュッセルへの派遣学生は一人だけになると思います。一人で知り合いが誰もいない土地に来ることは、期待に満ち溢れているかもしれません、かなりの挑戦になるかと思います。最初は誰も助けてくれません。また、インターネットに載っている情報が往々にして間違っていることもあります。最初は躊躇うかもしれませんが、困った時に自分からどんどん声をかけて助けを求められる人ほど、いち早く場に適応できるようになります。私は前期の間これができず、悩みや困りごとを一人で抱え込んでしまい精神的にかなり落ちてしまい後悔しました。授業においても自分から動くことが大切です。沈黙が美德とすら言わることもある日本とは違い、ここでは生徒の能動的な授業への参加が当たり前です。評価されたければ質問はもちろん、積極的に発言することが大切です。

二つ目の学びは一つ目とも関連しますが、嫌なことや違うと思ったことには NO とはっきり言うことです。授業でも普段の生活でも、多少争いを生むことがあっても、自分の意思をはっきり述べることがある種重要だと思いました。黙っていればそれは YES とみなされ、自分にとってあまり好ましくない状態のまま事が進んでしまい、非常に大きなストレスになりかねません。「あなたはどう思う？」と声をかけてくれる人は少ない印象です。どんどん意思を表明していきましょう。

三つ目の学びは、伝えること・伝えようとする事を諦めないことです。ベルギーは英語圏の国ではなく、いくら EU の中心・多文化社会とはいえ市内中心部でも英語が通じない場所はあります。そこで諦めるのではなく、ジェスチャーなど視覚的に情報を伝える努力をし、伝え方を工夫することが大事だと思います。無論、フランス語を勉強しておくことがベストだと思います。

四つ目の学びは留学中・後に進路選択を迫られる主に四年次を迎える方向けですが、自分のやりたいことを見る化することです。私は、留学とは、将来の選択肢がこれでもかと増える機会だと考えています。世界の広さを知り、人の数だけ様々なキャリアや教育の受け方があることを知ると同時に、自分にできることの小ささのようなものにも自覚的になるかもしれません。頭で考えるのも良いですが私の場合、自分の気持ちを書き出したりキャリアイベントに参加したりして、より具体的に将来のビジョンが描けるように動いたため、留学が終わる頃にはしっかりと将来これがしたい！というものを見つけることができました。

(2) 今後の展望

*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

まずは、せっかく培った語学の知識を無駄にしないように、日頃から英語やフランス語を使う機会に触れてていきたいと思います。使わないとすぐに忘れてしまうと思われます。また、留学での学びを活かして卒論や残りの授業に新たな視座を持って取り組みたいと思いますし、発言数を増やすなど、それらに前のめりに取り組む姿勢を保ちたいと思います。進路について、留学期間で将来やりたいことがだいぶ明確化できたため、まずは現在本選考に参加している企業で確実に内定を取りたいです。また、依然海外に挑戦したいという気持ちもあるので、ワーキングホリデーのセミナー、個別面談に積極的に参加したいと思っています。また、これは留学で再確認したことですが、親や友人など大切な人との時間を大切にしたいです。自分がどれだけ支えられ恵まれているのかを今回心の底から知れたので、今後は親孝行をすることはもちろん、残された大学生活や友人と過ごす日々を当たり前と思わず、感謝の気持ちを持って日々生活していきたいと思います。

(3) 後輩へのアドバイス

*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

良くも悪くも自分次第だと思います。学びを深めるもよし、ヨーロッパを満喫するもよし、友達をたくさん作るもよし、機会をどう生かすかは自分にかかっています。やり方は無限にあるということです。事前学習として私が怠ってしまったことに、留学の目的の細分化があります。なぜ留学するのか、留学で何を達成したいのか、是非じっくり考えてください。例えば、ただ単に語学を頑張るというだけではなく、その語学をどういった場面で活かしたいのか、どうやって伸ばしていきたいのか、具体的に自分が苦手なのは話す/聞く/書く/読むのうちどれなのか…というように。できるだけ噛み砕きブレインストーミングをすることが大事だと思います。友達や家族とこれについて話し合うのもいいかも知れません。とにかく中途半端にスタートすると、おそらく中途半端に終わってしまうと思います。とはいえ、留学は楽しいです。色々精神面でタフなことが待ち受けていると記していましたが、徐々に慣れていきます。メンタル最弱、人前に出て発言するなんてもってのほかだった私でも、最後には沢山の友達と、積極性、それなりの根性と言語能力を手に入れることができました。適度に覚悟を持ち、適度に心を弾ませながら留学に挑んでほしいと思います。もし、ヨーロッパの真ん中で、沢山の移民とフランス語の響きに囲まれた刺激的な毎日を過ごしたいなら、ぜひブリュッセルを選んでくれればと思います。